

## 平成22年度「産発プロジェクト展開鉄鋼研究」募集案内

日本鉄鋼協会では、「日本鉄鋼業の技術力を発展成長させる上で重要かつ基盤的なテーマ領域を鉄鋼企業(産)が選定し、大学等の研究者を募り、産学連携チームで鉄鋼業に大きなインパクトを与える(国家プロジェクトに提案できるレベル程度)研究を推進する。あわせて大学等における鉄鋼研究の振興活性化を図る。」ことを目的として「産発プロジェクト展開鉄鋼研究」への助成を平成18年度より開始いたしました。

平成22年度の研究テーマを下記要領にて募集いたします。今回より応募スケジュールが変更となっていますので、ご注意下さい(平成21年9月28日(月)応募締切)。

なお、応募に際しては、提案の研究期間終了後の展開(どのような国家プロジェクトあるいは実用化研究にどのように発展させるのか等[注1])を見据えて、具体的な研究提案[注2]をお願いいたします。

当制度は下記の特徴を有しており、この点をご理解の上、多数の応募をお願いいたします。

- (1) 企業との連携により開発の優位性(実用性、多様性、迅速化)が得られること
- (2) 終了後の発展的継続(国家プロジェクト、企業共研)を推進できること

**注1:** 企業選定のテーマ領域ではありますが、必ずしも短期での実用化を必要とするものではなく、一定の技術的知見が得られれば成果と認められます。また、応募テーマ自体が国家プロジェクトレベルではなくとも、大規模プロジェクトへの導入的開発と認められる研究であれば選考の対象と致します。

**注2:** 新規テーマの立案に加えて、以下の視点での提案も可能です。

- (1) 公の大規模施設の利用(J-PARC、SPRING-8、スパコン、etc)を行うもの
- (2) 過去の不採択テーマであっても、最新の環境変化を反映して内容が見直されたもの
- (3) 本会研究会の完了テーマを基に、更なる発展的開発テーマとしたもの(現在活動中の研究会テーマとの重複提案は不可)

### 1. 応募対象:

鉄鋼業に共通する重要かつ基盤的な次の研究テーマ領域に属するテーマであること。

| 分類         | 研究テーマ領域                     |
|------------|-----------------------------|
| 資源対応       | 低品位原料の利用技術(鉄鉱石/石炭)          |
|            | 稀少資源分離回収技術                  |
| 環境・エネルギー対応 | 革新的エネルギー回収・利用技術             |
|            | 副生物・発生物の資源化技術、発生量低減技術、無害化技術 |
|            | CO <sub>2</sub> 排出量の削減技術    |
|            | 炭酸ガス分離・固定技術                 |
|            | 鉄鋼製品の環境影響・社会的価値評価           |
|            | 高機能鋼材の研究(組織と材質特性および加工技術)    |

|             |                        |
|-------------|------------------------|
| 材料関連        | 高強度鋼溶接金属に関する革新技術       |
|             | 亜鉛めっきに代わる表面処理技術の研究     |
|             | 長寿命化(耐食・耐疲労性、寿命予測等)技術  |
| 計測・評価・分析・解析 | 鉄鋼材料生産および材質評価のための新計測技術 |
|             | 鉄鋼材料の新分析・解析・評価技術       |

## 2. 助成金額・期間

- (1) 助成金額: 総額4,000万円以内/件かつ2,000万円以内/年度を原則とする。
- (2) 助成期間: 原則3年以内とする。

ただし、日本鉄鋼協会の組織である研究所長会議(大手鉄鋼企業の研究所長がメンバー)の判断に基づき、助成金額の増減、期間の短縮・延長、助成の打ち切りをする場合がある。

## 3. 助成の方法

研究費は、国内の大学およびこれに準ずる研究機関の研究実施者に、奨学寄付金・委託研究・共同研究等の方法で支給する。支給の方法は、研究テーマにより研究所長会議が判断する。

## 4. 助成の方法

[提案書\(Word形式。ダウンロードしてご使用下さい\)](#)に必要事項を記入し、**PDFファイル形式**で、鉄鋼協会事務局に提出。

**応募期限: 平成21年9月28日(月) < 期日厳守 >**

## 5. 応募資格

- (1) 申請チームは、本会正会員3名以上を含むものであること(上限は無し)。
- (2) うち、2名は大学またはこれに準ずる研究機関に所属する正会員であること。
- (3) うち、1名は維持会員企業に所属する正会員であること。

## 6. 応募に際しての留意点

- (1) 必要に応じてプレゼンテーションをお願いすることがあります(平成21年11月頃)。
- (2) 採否は、平成21年12月上旬に書面にて連絡いたします。
- (3) 採択課題への研究費の支給は、研究計画の最終確認を行った上で、平成22年4月以降となります。
- (4) 現在活動中の鉄鋼協会における研究会テーマでの応募はできません。
- (5) 応募書類は返却しませんのでご了承下さい。また、応募された内容は一切公開いたしません。

## 7. 採択後の注意事項

**(1) 報告事項**

- 1) 年度毎の研究計画を作成する。
- 2) 年度末に活動報告書と経費使用実績を提出する。この報告書に基づき中間評価を受ける。
- 3) 最終年度に終了報告書を提出し、最終評価を受ける。
- 4) 研究成果は本会のシンポジウム、論文誌、成果報告書等で発表する。

**(2) 知財権**

知財権に関する取扱いは、「[産発プロジェクト展開鉄鋼研究および研究会活動により生じた知的財産の取扱いに関する規程](#)」に従う。

**8. 応募・問合せ先**

(社)日本鉄鋼協会 学会・生産技術部門事務局 技術企画・部会グループ 佐藤  
TEL. 03-5209-7012、FAX. 03-3257-1110、E-mail: sanhatsu@isij.or.jp

**9. 参考：産発プロジェクト展開鉄鋼研究の過去の採択テーマ実績**

| 採択年度   | 研究テーマ                                  | 代表者<br>(所属)    | 研究期間               |
|--------|--|----------------|--------------------|
| 平成18年度 | 中性子利用鉄鋼評価技術の基礎検討に係る研究                  | 友田 陽<br>(茨城大学) | 平成18～20<br>年度(3年間) |
| 平成19年度 | マルチスケールのアプローチによる鉄鋼材料の変形限界支配因子の解明       | 高木節雄<br>(九州大学) | 平成19～21<br>年度(3年間) |
|        | 鉄鋼材料の大気腐食寿命を数値シミュレーションするための基盤技術構築に係る研究 | 武藤 泉<br>(東北大学) | 平成19～21<br>年度(3年間) |
| 平成20年度 | 鉄鋼材料を対象とした凝固組織過程のその場観察手法の開発と応用         | 安田秀幸<br>(大阪大学) | 平成20～22<br>年度(3年間) |
|        | ダストメイキングテクノロジーの開発                      | 長坂徹也<br>(東北大学) | 平成20～22<br>年度(3年間) |
| 平成21年度 | 該当なし                                   |                |                    |

[助成のページに戻る](#)

[ISIJのホームページに戻る](#)